

1 題材の目標及び題材構想

「安全で快適な住まいをつくろう」(10 時間完了)

(1) 題材の目標

- ① 安全で快適な室内環境の整え方と住まい方について関心を持ち、住生活をよりよくしようとする。
(生活や技術への関心・意欲・態度)
- ② 安全で快適な室内環境の整え方と住まいについて課題を見付け、その解決を目指して工夫している。
(生活を工夫し創造する能力)
- ③ 住居の機能について理解し、安全で快適な室内環境の整え方と住まいに関する基礎的・基本的な知識を理解している。
(生活や技術についての知識・理解)

(2) 評価規準に盛り込むべき事項

生活や技術への関心・意欲・態度・・・【関】	安全で快適な室内環境の整え方と住まい方について関心をもって学習活動に取り組み、住生活をよりよくしようとしている。
生活を工夫し創造する能力・・・【工】	安全で快適な室内環境の整え方と住まいについて課題を見付け、その解決目指して工夫している。
生活や技術についての知識・理解・・・【知】	住居の機能について理解し、安全で快適な室内環境の整え方と住まいに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。

(3) 題材構想

各過程のねらい	時数	モデル家族	学習活動・内容	教師の支援・留意点☆評価規準
○住まいの役割について考える ○日本の住まい方の特徴を知る	1	[夫婦+子]	・住まいについての基本的な役割について知る。 ・和風と洋風の住まい方の特徴を知る。	・さまざまな地域の住まいの写真から、地域の気候や風土と住まいや住まい方が関連していることに気付かせる。 ☆住まいの役割について説明できる。 ☆日本の住まいと住まい方の特徴を挙げることができる。 (ワークシート①)【知】
○家族と住まいの関わりを考える [生活行為と住空間]	1	[夫婦]	・新婚夫婦が新たに住まいを探す場面を設定し、新生活に必要な住空間を挙げる	・新婚夫婦の新居に必要な空間を考慮を通して、生活行為と住空間のかかわりを知らせる。 ☆家族と住まいの関わりに関心を持ち、自分の生活に取り入れようとしている。 (ワークシート②)【関】 ☆住まいの動線や部屋数などについて問題点を見だし、改善案を考えることができる。 (ワークシート②)【工】
○安全で快適な室内環境を考える [室内環境]	1	[夫婦+子]	・乳幼児のいる家庭における安全で快適な室内環境に必要な条件を挙げさせ、快適に住まうための工夫を知る。	・換気や騒音対策についても触れる。 ☆安全で心地よく住むための室内条件をまとめることができる。 (ワークシート③)【知】 ☆快適な室内環境を整える方法を考えることができる。 (ワークシート③)【工】

<p>○安全に住むための工夫を考える [家庭内事故防止]</p>	2	<p>[夫婦+子+親世帯]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭内事故の実態を知らせ、モデル家族が生活する住空間を安全な住空間にするための工夫をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者疑似体験をもとに、高齢者の家庭内事故防止対策を考えさせる。 ☆安全な住まいや住まい方に関心を持ち、自分の生活に取り入れようとしている。 (ワークシート④)【関】 ☆高齢者の安全性に着目し、住まいの問題点を見出し、改善方法を考えることができる。 (ワークシート④)【工】
<p>○災害に備えた住まい方を考える</p>	2	<p>[夫婦+子]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル家族の寝室を地震に備えて工夫する。 ・非常持ち出し袋の中身を考える。 [地震対策] 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で想定されている災害についてハザードマップ等で確認させ、必要な対策を考えさせる。 ☆住まいにおける災害への安全対策について、家庭で実践できる方法を考え、工夫している。 (ワークシート⑤)【工】 ☆避難生活を想定した非常持ち出し袋の中身を考えることができる。 【工】
<p>○よりよい住生活を目指して</p>	3	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル家族の20年後を想定し、住まい方を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習を生かして、住まい方を工夫させる。 ☆暮らしやすい住まい方を考え、工夫している。 【工】 	